

# 1年次は基礎を徹底。

1年次では基礎に重点を置いて学び、2年次には主コースを選択し、関心のある分野を掘り下げていきます。そして3年次の秋学期からは、いよいよ卒業研究に取り組みます。

## 講義と実験による基盤づくり

「先端生命科学科」では、2年次以降の専門的な学修に備え、1年次は基礎を固めるカリキュラムを充実させています。生命科学の入門知識を得る「フレッシュャーズセミナー」のほか、生物学、化学の基礎から演習科目までを展開。秋学期から実験科目も始まります。

## 社会に生かす知識の土台づくり

「産業生命科学科」では、「生物の基礎」「化学の基礎」といった生命科学を学ぶために必要となる生物、化学の基礎知識を徹底的に学びます。「産業生命科学演習」では課題発表やグループ学習などを通して生物学と化学の知識を定着させ、生命科学への理解を深めていきます。

1年次

## ハイレベルな専門分野の学びへ

「先端生命科学科」では、三つの主コースから生命科学の専門性に迫ります。また1年次秋学期から続く実験科目は、2年次になるとより高度な内容に段階的に発展。連携して展開される講義科目を受講し、知識と実技を組み合わせることで、専門性を高めていきます。

先端生命科学科 主コース

- 生命医科学コース
- 食料資源学コース
- 環境・生態学コース

## 生命科学と社会科学の融合を学ぶ

「産業生命科学科」では、生命科学と社会の懸け橋となり広く活躍できる人材育成を掲げ、三つの主コースを設置。2年次から一つを選択し、コースごとの専門知識を深めます。また企業と連携したPBL（課題解決型学習）などを取り入れ、実社会で生かせる能力を磨きます。

産業生命科学科 主コース

- 医療と健康コース
- 食と農コース
- 環境と社会コース

2年次

3年次

## より高度な研究能力を育成

「先端生命科学科」「産業生命科学科」とともに、3年次秋学期から、それぞれの教員の研究室に所属し、研究活動を行います。自らの研究志向に応じて主体的に科目を選択し、生命科学に関する知識や技術を社会で活用できるレベルにまで高めていきます。

# 2年次からは コース選択、 専門分野へ。

4年次

## 学びの集大成に取り組む

4年間の学修の集大成として卒業研究に取り組みます。両学科ともに将来を見据え、研究・開発能力や問題解決能力に加え、情報発信能力を修得します。

「先端生命科学科」では、修得した生命科学の専門知識と技術を基に、実験を中心とした研究活動を行います。研究成果は卒業論文などにまとめ、口頭発表も行います。

「産業生命科学科」では実験による研究活動や、社会と連携した課題探究活動を行います。研究成果を卒業論文などにまとめ、口頭発表も行います。

## 大学院

将来、生命科学の分野において研究者や技術者として活躍するには、より高度な専門性が求められます。社会で求められるより高度な専門性を追究し、研究活動が継続できるよう生命科学研究科を設置しています。研究科では「修士」「博士」の学位取得が可能です。